

## 平成26年度岩國育英財団奨学生募集要項

本財団は、(株)セブン・イレブンジャパンの創業者の1人である岩國修一氏(現名誉理事長)により、平成5年3月に設立されました。

設立の目的は、思いつきや歪流ではない真の創造性、我流ではない独創力、エゴではない自己主張、安易な妥協ではない協調、和して同ずることのない個性、そしてこれらを自らの内に育て、それを自分一人のためだけではなく、社会への貢献を目指す学生に研鑽と思索の時間が得られるように支援することにあります。

そのため、奨学金給付のほか、奨学生のための交流や支援の機会などを設けています。すでに300名以上の大学生及び大学院生に奨学金を給付し、奨学生OB・OGの活躍は各界に及んでいます。

本財団は、修学困難にありながら、チャレンジ精神溢れるヒトの応募を心待ちにしています。

### I. 募集人数

10名

### II. 給付額

1年度につき25万円

大学学部在籍中の4年間にわたり継続して給付します(給付総額100万円)。

### III. 給付期間

平成26年度～平成29年度

休学等により大学在籍期間が延長となる場合については、別途相談のうえ給付期間等を決定します。

### IV. 出願資格

1. 与えられた枠組の中で機能する“人材”ではなく、自ら新しい枠組を創造しようとする者
2. 平成26年4月1日現在、以下の大学において学部1年次生(休学者を除く)である者(国籍は問いません)。原則として学部1年次生を採用します。ただし、学部2、3年次生であっても、学業、各種活動実績等に卓越した成果を有している者、あるいは自分自身を志高く人物が特に優秀であると考える者については、出願可能とし、例外的に採用します。なお、学部2、3年次生で奨学生として採用された場合は、一般的な卒業年次である4年次生までの間、奨学金を給付します(学部2年次生の場合:3年間給付総額75万円、学部3年次生の場合:2年間給付総額50万円)。

北海道大学、東北大学、東京大学、一橋大学、京都大学、名古屋大学、  
大阪大学、神戸大学、九州大学、国際教養大学、金沢工業大学、  
早稲田大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、中央大学、上智大学、  
同志社大学、立命館アジア太平洋大学(18大学)

### V. 選考

#### 1. 書類選考

出願書類に基づき選考を行います。

#### 2. 面接選考

書類選考合格者について面接選考を実施します。

面接会場：本財団（東京都千代田区麹町）にて行います。

面接日時：平成26年5月16日（金）～18日（日）を予定。

\* 面接に必要な交通費は支給します。

## VI. 選考の視点

修学困難な状況（家計条件などはありません）にありながら、応募者自身の個性と何かにチャレンジしようとする精神を大切な視点として選考を行います。

## VII. 応募方法

応募書類を下記財団ホームページより以下の書類をダウンロードのうえ作成し、4月15日（火）までに（\*消印有効）本財団に郵送してください。

本財団は、自由応募方式です。上記の出願資格を満たす者が自由に応募することができます。

ホームページアドレス：<http://www.iwakuni.or.jp>

### 1. 応募者本人が用意する書類等

①奨学生願書

②エピソードシート

③課題作文「自分の未来に何を想う？」600文字以内

④自己PRシート

⑤添付資料用表紙<自己PRシート別紙>

⑥奨学生所見書（所見者は親族をのぞく）

⑦本人宛に選考結果を通知するための返信用封筒（切手添付、現住所、宛名記入）

⑧在学証明書（平成26年4月1日以降発行のもの）

⑨成績証明書（平成26年4月1日以降発行のもの）

\*学部1年次生は提出不要、学部2年次生以上のみ提出

⑩書類送付先

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3

公益財団法人岩國育英財団

\*応募関係書類（添付資料を含む）は、理由のいかんに関わらず返却しません。

## VIII. 応募期間

平成26年4月1日（火）～4月15日（火）

## IX. 合格発表

1. 書類選考結果発表 平成26年4月28日（月）頃【郵送により通知】

2. 面接選考結果発表 平成26年5月23日（金）頃【郵送により通知】

## X. 応募するにあたって予めお伝えしたいこと

1. 他の奨学金との併給は可能です（当財団は併給を奨励します）。

2. 奨学金を受給することによる将来進路の束縛、または進路変更による奨学金返済などは原則として一切ありません。

3. 本財団は、奨学生1人1人が、多くのヒトと出会い、自らを高める機会の提供を設立以来大切にしてきました。そのため、奨学生は、以下の財団行事に参加することを求めます（交通費などの諸費は本財団負担）。

1) 奨学生交流会

毎年、6月第1週目土曜日に開催（平成26年度は6月7日開催）。奨学生の交流を目的とした行事。財団OB・OG参加のパーティーなども併せて行われます。

2) 奨学生交流セミナー

毎年、10月第2週目土曜日から月曜日（2泊3日）のセミナー合宿を行います（平成26年度は10月11日～13日）。

4. その他、奨学生資格の休止・停止をはじめとした権利・義務などについては、本財団ホームページ及び事務所に直接お問い合わせください。

○問い合わせ先（応募書類送付先住所）

公益財団法人 岩國育英財団

〒102-0083 東京都千代田区麴町4-3-3

TEL: 03-5276-1892 MAIL: info@iwakuni.or.jp

以 上

No.

## 奨 学 生 願 書

本人の写真  
(3cm×4cm)

1. 上部のみ貼付
2. 半身・無帽・正面  
3ヶ月以内のもの
3. 写真の裏には  
大学名、氏名を書くこと

※上記空欄は本財団にて記入  
公益財団法人岩國育英財団  
理事長 横田 利久 殿

貴財団奨学生として採用希望しますので、所定書類を添付のうえ応募いたします。

2014年      月      日

フリガナ				男・女	年齢 生年月日	満 歳(2014.4.1現在)				
氏名	(印)					年	月	日生		
本人 現住所	〒(      -      )					国籍				
☎	(      )			E-mail :						
大学	大学				学部	学科・専攻 コース				
入試形態	一般入試 ・ 推薦入試 ・ 帰国子女 ・ 外国人入試									
本人履歴 (学歴・職歴)	休学・転学・退学・留学を含む									
	年	月	日						小学校卒業	
	年	月	日						中学校卒業	
	年	月	日						高等学校卒業	
	年	月	日						大学入学	
	年	月	日							
通学形態	自宅通学 ・ 下宿 ・ 大学寮 ・ その他									
父母等家族 の現住所	〒(      -      )					☎	(      )			
家 庭	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業・勤務先・役職名			年収(税込)		
		父						万		
		母								
	(父・母)      年      月に (生別・死別)									
	本人除く就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名			通学例		
								自宅・自宅外		
							自宅・自宅外			
家 庭 事 情	奨学金給付を希望するに至った家庭事情・家計状況、その他特に説明を要すること									
	家計収入が就学者の収入のみの場合、本人の月収							万円		

在学大学進学理由

大学進学前と大学進学後で自分に変化(考え方・心境など)がありましたか？  
ある場合はその内容を書いてください。なお、ない場合もその理由などを書いてください。

私が感動したヒトと本

<ヒト>

<本>

趣味

私の性格

奨学生募集を  
知ったきっかけ

学内掲示 ・ 先生等 ・ 友人先輩 ・ 親族  
ホームページ ・ その他( )

個人情報の保護について

岩國育英財団は、応募書類記載事項をはじめ奨学生に応募していただいた方に関する個人情報については厳正に管理し、奨学生の選考、選考過程における連絡、各種統計処理および奨学生採用内定後における各種連絡以外には使用いたしません。もちろん、第三者に個人情報を提供するようなことは絶対にありません。また、採用選考に漏れた方の一切の応募書類については3ヶ月以内に、信頼できる業者に委託して溶解処分いたします。









No.

※上記空欄は本財団にて記入

# 添付資料

(表紙)

〈 自己PRシート別紙 〉

あなたの活動実績に関する資料（新聞切り抜き、賞状等の縮小コピー）等をA4の紙に貼り、この表紙を一番上にしてクリップ等でとめてください。論文コピー等も同様にこの台紙をコピーして一番上にして綴じてください。（資料には番号をつけてください。）

大学

フリガナ  
氏名

No. [ ]

# 奨学生所見書

※上記空欄は本財団にて記入

年 月 日

公益財団法人 岩國育英財団  
理事長 横田 利久 殿

下記の者は、貴財団奨学生として応募していますが、次のとおり所見いたします。

大学	フリガナ 氏名	
応募者との関係	氏名	印

※所見者は親族をのぞき、どなたでも差し支えありません。